

動画配信サブスクリプションサービスの普及と著作権に関する意識調査 の中間報告

原島直輝 (22011274nh@tama.ac.jp)

1. 研究の背景

2020年から在宅時間の増加等による、インターネット経由で動画視聴が増加している。有料の動画配信サービスの利用率は年々増加傾向にあり、巣ごもり需要の影響もあってか例年以上に利用率を大きく伸ばしている。

日本では多くのサブスクリプションサービスが存在し、それぞれの企業等が独自性をもって多様なニーズに答えるため様々なサービスを展開している。

高校を卒業し、自分のために使える時間も増えたためこういったサービスを受けられる時間も生まれた。

一方で違法アップロードやファスト映画などが度々問題となり、東京地方裁判所がファスト映画をアップロードした2人に対し著作権侵害に損害賠償保証金、5億円の支払いを命じる判決を言い渡した裁判も発生している。

映画を楽しむということの形態が変わってきているのではないかと感じた。

2. 研究の目的

自分と同じ世代の10代後半から20代前半の人たちがどのように、映像作品を楽しんでいるのか・向き合っているのかをサブスクリプションの普及事情や著作権の観点などから明らかにしていきたい。

3. 研究方法

資料調査・アンケート調査

4. 研究予測

サブスクリプションサービスの充実により、違法アップロードサイトの数、サイトの視聴者数が減少しているのではないかと予測している。

サブスクリプションサービスの流行以前は違法アップロードを視聴していたが、サブスクリプションサービスの流行後違法アップロードサイトを見なくなった人が多いのではないかと予測している。などの予測をしてアンケートを作成していく。

5. 研究のスケジュール

来年度前期は、先行研究の分析、資料調査、アンケートの作成・実施・分析を行う

予定。

6. 先行研究

新型コロナ禍中の2 期間において、人々の消費マインドや余暇時間の変化について調査し、同様の調査を行った林(2022a)との経年比較を行った。「新型コロナ禍中における余暇消費動向に関する一考察 ～2020年から2021年にかけて～」

サブスクリプション・サービスにおける顧客満足度の特性を知ることを目的とし、オリコン社の顧客満足度調査から利用の程度と満足度の関係を探的に調査した研究。「サブスクリプション・サービス利用と顧客満足度の特性」

動画配信サブスクリプションサービスを対象に、コンテンツの知覚多様性が同サービスに対する消費者のロイヤルティを高めることに寄与するかを検証する研究。「動画配信サブスクリプションサービスにおけるコンテンツの知覚多様性が消費者のロイヤルティに与える影響」

7. 参考文献

[研究ノート] 新型コロナ禍中における余暇消費動向に関する一考察 ～2020年から2021年にかけて～ 林 健太 甲南大学機関リポジトリより

サブスクリプション・サービス利用と顧客満足度の特性 太宰 潮 j-stageより

動画配信サブスクリプションサービスにおけるコンテンツの知覚多様性が消費者のロイヤルティに与える影響 中川 正悦郎 j-stageより